

## 第 126 回 学長定例記者会見

日時：令和2年 10 月 21 日（水） 11：00～11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟 3 階 大会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

### 【発表事項】

1. 第 14 回広島大学ホームカミングデーの開催について
2. 工学部創立 100 周年記念式典等の開催について
3. 広島大学オンライン公開講座 2020  
「宇宙に生命を探す」を開講します（11 月～12 月）

### 【お知らせ事項】

1. 附属高等学校 3 年生が第 61 回国際数学オリンピック（IMO）  
ロシア大会で銀メダルを獲得し、文部科学大臣表彰を受賞

### ■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和2年 11 月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 2 年 10 月 21 日

## 第 14 回広島大学ホームカミングデーの開催について

広島大学では、新型コロナウイルスの感染が続く中ではありますが、今だからこそ卒業生との強い絆を大切にしたいという思いから、感染防止策を徹底した上で、東広島キャンパスで令和 2 年 11 月 7 日(土)、霞キャンパスでは、令和 2 年 11 月 14 日(土)、東千田キャンパスでは、令和 2 年 11 月 21 日(土)に第 14 回広島大学ホームカミングデーを開催いたします。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員などを招待して歓待するイベントとして、毎年実施しています。

今回は、東広島キャンパスでは、サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式を実施し、生物学者として活躍されている福岡伸一氏による講演会「生命を捉えなおす一動的平衡の視点から一」を開催します。

また、霞キャンパスでは、講演会「With/Post コロナ時代のメンタルヘルスと脳科学」、東千田キャンパスでは、法科大学院講演会「Global Ground Zero: Hiroshima, Transformation, and the Praxis of Peace」を開催いたします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、企画内容等に変更が生じる可能性があります。お越しの前には必ず広島大学校友会のウェブサイトをご覧ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※詳細内容については、校友会だより第 28 号(1~5 頁)をご覧ください。

※東広島キャンパス及び霞キャンパスにおいて、例年同日開催しております大学祭は中止となりました。

### 【お問い合わせ先】

基金室（校友担当）木本、星加、内城  
TEL：082-424-4403/FAX：082-424-6015

令和 2 年 10 月 21 日

工学部創立 100 周年記念式典等の開催について

広島大学工学部は、その前身にあたる広島高等工業学校が設立された大正 9 年から数えて本年 100 周年を迎えました。

これを記念して下記のとおり記念式典等を開催いたします。

記

○プログラム

1. 記念講演等 13 時～
2. 100 周年記念オブジェ除幕式 14 時 45 分～
3. 実験施設等見学 15 時 10 分～
4. 工学部創立 100 周年記念式典・祝賀会 16 時 30 分～

○場 所：

- 1～3：工学部講義室等
- 4：西条 HAKUWA ホテル

【お問い合わせ先】

工学系総括支援室 総務担当  
坂本  
TEL:082-424-7505 FAX:082-424-7039

令和2年10月21日

**広島大学オンライン公開講座 2020  
「宇宙に生命を探す」を開講します**

地球の生命は、どこからやって来たのか。生命についての起源を考えると、地球内では話は完結せず、宇宙の起源を明らかにすることにもつながります。138億年にわたる壮大な宇宙の歴史、銀河、恒星、ブラックホール、太陽系、生命の起源などについて考えていきます。そして、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」の成果、地球外生命の探査等についても紹介します。

会 場 Zoomによるオンライン講座  
～事前にお申し込みいただいたメール宛に、ミーティングのURLを記載したメールをお送りします。

時 間 19:00～20:30

定員／対象 どなたでも

受講料 無料

申込方法 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/news/60582>

11/5 (木)	1回	<b>宇宙の不思議</b>	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見
		1995年にマイヨール教授（2019年ノーベル物理学賞受賞）たちが太陽系外の惑星を発見して以来、宇宙には三千を超える惑星が存在し、中には地球と同じような環境の惑星も見つかっています。「宇宙に生命を探す」試みは、今後の大きな天文学や宇宙物理学の目標となってきました。初回は、宇宙と私たちのつながり「宇宙の不思議」を概観します。	
11/12 (木)	2回	<b>太陽系における地球生命の誕生</b>	先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる
		約46億年前の太陽系形成史を記録する、隕石・小惑星・彗星などの小天体は、地球を含む惑星と生命を作った材料です。これらを最先端の化学分析手法で調べることで、地球生命を構成する水と有機物の起源と形成の謎に迫ることができます。2020年末頃に「はやぶさ2」が持ち帰る、小惑星リュウグウ試料の分析への期待を込めて、お話しします。	
11/26 (木)	3回	<b>地球外惑星の生命の探査</b>	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見
		太陽系外に惑星を見つけることは、天文学者の大きな夢でした。ついに、1995年にマイヨール教授とケロー博士によって達成されましたが、それは、彼らの努力と同時に幸運もあった結果でした。今や、3千個を超える惑星や惑星系が発見されており、そこに生命の存在を確認する計画が様々な立案されています。高等生命を探る試みもあります。	
12/10 (木)	4回	<b>地球の極限生物からみた地球外生命の可能性</b>	統合生命科学研究科 教授 長沼 毅
		天文学や惑星科学から「宇宙には地球みたいな天体はたくさんある」ことがわかりました。一方、生物学からは「地球にはこんなスゴイ生きものがあるんだ、これなら宇宙でもやっていけるかも」という希望が語られるようになりました。深海の海底火山や南極の氷の下などの「極限環境」に住んでいるスゴイ生きものの面々を、ご紹介いたします。	

**【お問い合わせ先】**

学術・社会連携室 地域連携部門 担当:三戸  
Tel: 082-424-5871  
E-mail: [chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp)

# 宇宙に生命を探す

インターネット（Zoom）から講義をお送りします  
講義へのアクセス方法は申込後にご案内

第  
1  
回

11月5日（木）19:00-20:30

## 「宇宙の不思議」

講師：観山 正見（学術・社会連携室 特任教授）



第  
2  
回

11月12日（木）19:00-20:30

## 「太陽系における地球生命の誕生」

講師：薮田 ひかる（先進理工系科学研究科 教授）



第  
3  
回

11月26日（木）19:00-20:30

## 「地球外惑星の生命の探査」

講師：観山 正見（学術・社会連携室 特任教授）



第  
4  
回

12月10日（木）19:00-20:30

## 「地球の極限生物からみた 地球外生命の可能性」

講師：長沼 毅（統合生命科学研究科 教授）



詳細・申込

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/news/60582>

お問い合わせ先

広島大学地域連携部門 TEL: 082-424-5871



# 広島大学オンライン公開講座 2020

# 宇宙に生命を探す

概要	地球の生命は、どこからやって来たのか。生命についての起源を考えると、地球内では話は完結せず、宇宙の起源を明らかにすることにもつながります。138億年にわたる壮大な宇宙の歴史、銀河、恒星、ブラックホール、太陽系、生命の起源などについて考えていきます。そして、小惑星探査機「はやぶさ」や「はやぶさ2」の成果、地球外生命の探査等についても紹介します。
会場	Zoomによるオンライン講座 ~事前にお申し込みいただいたメール宛に、ミーティングのURLを記載したメールをお送りします。
時間	19:00 ~ 20:30
定員/対象	どなたでも
受講料	無料

11/5 (木)	1回	宇宙の不思議	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見	
		1995年にマイヨール教授(2019年ノーベル物理学賞受賞)たちが太陽系外の惑星を発見して以来、宇宙には三千を超える惑星が存在し、中には地球と同じような環境の惑星も見つかっています。「宇宙に生命を探す」試みは、今後の大きな天文学や宇宙物理学の目標となりました。初回は、宇宙と私たちのつながり「宇宙の不思議」を概観します。		
11/12 (木)	2回	太陽系における地球生命の誕生	先進理工系科学研究科 教授 藪田 ひかる	
		約46億年前の太陽系形成史を記録する、隕石・小惑星・彗星などの小天体は、地球を含む惑星と生命を作った材料です。これらを最先端の化学分析法で調べることで、地球生命を構成する水と有機物の起源と形成の謎に迫ることができます。2020年末頃に「はやぶさ2」が持ち帰る、小惑星リュウグウ試料の分析への期待を込めて、お話しします。		
11/26 (木)	3回	地球外惑星の生命の探査	学術・社会連携室 特任教授 観山 正見	
		太陽系外に惑星を見つけることは、天文学者の大きな夢でした。ついに、1995年にマイヨール教授とケロー博士によって達成されましたが、それは、彼らの努力と同時に幸運もあった結果でした。今や、3千個を超える惑星や惑星系が発見されており、そこに生命の存在を確認する計画が様々に立案されています。高等生命を探る試みもあります。		
12/10 (木)	4回	地球の極限生物からみた地球外生命の可能性	統合生命科学研究科 教授 長沼 毅	
		天文学や惑星科学から「宇宙には地球みたいな天体はたくさんある」ことがわかりました。一方、生物学からは「地球にはこんなスゴイ生きものがあるんだ、これなら宇宙でもやっていけるかも」という希望が語られるようになりました。深海の海底火山や南極の氷の下などの「極限環境」に住んでいるスゴイ生きものの面々を、ご紹介いたします。		

講座内容に関する問合せ	学術・社会連携室 地域連携部門	電話：082-424-5691 メール：chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp
-------------	--------------------	--



令和 2 年 10 月 21 日

**附属高等学校 3 年生が第 61 回国際数学オリンピック (IMO)  
ロシア大会で銀メダルを獲得し、文部科学大臣表彰を受賞**

第61回国際数学オリンピック (IMO) ロシア大会が9月19日～28日 (日本時間) にオンラインで開催され、3年連続日本代表選手として参加した附属高等学校3年 渡辺直希さんが、銀メダルを獲得しました。

参加者は2日間にわたり、1日4時間半、各3問の筆記試験に取り組みました。1問7点、42点満点の合計得点で競い、成績優秀者にはメダルが授与されます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響によってオンライン開催となったため、日本代表選手6人は東京に集められ、参加しました。

渡辺さんは、2018年の第59回国際数学オリンピック (IMO) ルーマニア大会、2019年の第60回国際数学オリンピック (IMO) イギリス大会に続き、3年連続で国際数学オリンピックの日本代表選手として参加しました。2018年、2019年と連続して銅メダルを獲得していますが、今年は日本代表選手の中で最高得点である29点で銀メダルを獲得しました。日本は銀メダル5人、銅メダル1人で、6人の選手全員がメダリストとなり、国別順位は13位でした。その結果、6人の選手全員が文部科学大臣表彰を受けました。

(参考) 文部科学省報道発表  
国際数学オリンピック参加生徒の成績及び文部科学大臣表彰受賞者の決定について (令和2年9月29日)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2020/1418176\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/1418176_00001.htm)

**【お問い合わせ先】**

広島大学附属高等学校  
副校長室  
TEL:082-251-0192  
FAX:082-252-0725